



令和3年1月1日 現在
総世帯数 7,856世帯
総人口 17,198人
男 8,599人
女 8,599人

芳川小学校5年生 しめ飾りづくり講習会

12月8日(火)5年生に、しめ飾りづくり講習会を実施しました。毎年スクールファームで育てた稲わらを使い、体育館で全クラスがしめ飾りをつくっていましたが、コロナ禍でお米づくりも中止となりました。

代わりに近くの農家から稲わらをいただき、クラス毎に『おわん』の実演と、『しやもじ』のキットを配布しました。キットを使い、みんなでもしを完成させました。

児童たちから「おわんを作る技術がすごい」「自分で作ったしめ飾りをお正月に飾る」「良い体験ができ、楽しかった」と話してくれました。



出張たいそう講座

コロナ禍で身体を動かす機会、人と交流する機会が減り、心身への影響が危惧されることから、スポーツ委員の黒沢敏明さん、津田美恵子さんからの提案で体操講座&公民館長講話事業を取り組みました。

町内公民館に出かけること全12回、延べ174人加した事業を振り返り、お2人に聞きました。

Q 10月12日〜12月8日まで、長丁場でしたが、やり終えた直な感想は？

A 外出を控える生活が長く続いたことから、家を出て、人に会い、体を動かせることがとても楽しそうでした。

Q 体操で特に力を入れた点は？

A 下半身の筋トレです。足腰の筋肉が弱ると、転倒やそれに伴う骨折、寝たきりになる危険度が高まるからです。

Q 集まって楽しそうに「いきいき百歳体操」をしていましたが、家で毎日やるのは難しいのでは？

A 講座でやったような体操を毎日続けることは難しいので、家で毎日出来る筋トレを紹介してきました。ぜひ、やってみてください。

Q 毎回思っていた以上の皆さんが集まりましたが？

A 口コミと関係の皆さんの声かけで、この種の講座に初めてという方もいました。芳川公民館は町会によっては遠く、町内公民館の近さがよかったと思います。

Q 公民館長の講話とセットにしたことについては？

A 芳川生まれの人ばかりではないので、それぞれの地域の歴史、事の話が興味深く、私たちも楽しませていただきました。

Q 今後も町内公民館で色んな活動が出来そうですね。

A 来年も更に工夫をしてやれたらと思っています。水筒と運動靴という案内が、ハードな筋トレをするというイメージを与えたかもしれません。そんなことはありませんので、開催の折には多くの皆さんに参加していただきたいと思っています。

簡単にできる体操の説明(できる範囲)

※無理をせず、体調に合った回数で行い、慣れてきたら

◀「片脚立ち」

椅子や机に片手を置き、床につかない程度片足を上げます。
※姿勢はまっすぐ、支えが必要な方は机に両手をついて行いましょう。1日: 左右1分間ずつを2〜3セット(目安)

「かかと上げ」▶

椅子の背もたれや机に両手をついてかかとを上げます。
1日: 10秒間かかとを上げてゆっくり下げる動作 5〜10回を2〜3セット(目安)

※かかとを上げすぎると膝を崩しやすいので、できる範囲で

「椅子からの立ち上がり」▶

椅子ががり、背、また1日: 10回



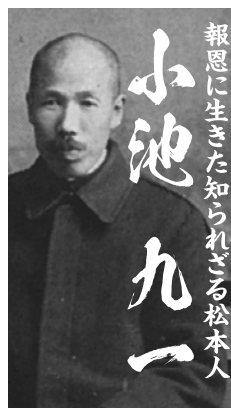
スポーツ推進委員 津田美恵子さん



スポーツ推進委員 黒沢敏明さん

芳川

シニア短期大学
講師：柏澤由紀一
Vol.4



(出典)「小池九一」シリーズ 福祉に生きる42 (大空社)

山田有斌との運命の出会い

ありたけ

北海道に渡った九一は、まずは全道の視察を思い立ちます。その旅の途中、岩見沢でたまたま、北海道庁空知支所を訪ねます。面会に応じた支所長の山田有斌は、九一が持っていた書状の中に、自分が書いたものを発見し驚きます。山田は、九一がかつて激励金を送った巡査の上司、神田警察署長だったので

す。山田は九一を支庁宅に住ませ書生として空知支所の収入係として勤務することになりました。九一は働き過ぎると苦情が出るほどで、山田は九一を日本赤十字空知委員会へ回しました。赤十字の仕事に、九一は水を得た魚のように全力で取り組み、赤十字への加入促進をはかっていたのです。

支庁宅には、林スミという鳥取藩で柳生流の師範の娘が家事手伝いとして働いていました。明治34年、山田の勧めで2人は結婚しましたが、結婚しても同じ部屋に住もうとしません。2人は小池家の再興を図るまでは、子どもはつくらないと決め、九一の紙の知識を生かして、郵便を印刷して役所に納める内職まで始めたのです。

2人の目標は、1万坪の土地の購入資金5万円を貯めることで、結婚の翌年には、目標額の3分の1まで達し、岩見沢に5千坪の土地を購入しました。

●芳川シニア短期大学受講者随時募集中！

詳しくは芳川公民館まで

歴史標柱が新しく！

芳川地域づくり協議会地域振興・歴史文化部会では、県の元気づくり支援金を活用し、地区内の歴史標柱12本の再整備を行いました。

芳川地区は奈良時代頃から「都市計画」によって開発され、江戸時代に入ると村井町に宿場が置かれました。そうした歴史を案内する木製の標柱が設置してありますが、風化し、劣化が目立つようになりました。

そこで、素材をアルミに変更し、作り直しました。コロナ禍で、外に出る機会が減っていると思いますので、歩きながらぜひ探してみてください！

Before



After

After



Before



現在、芳川歴史マップ再編さんに取り組んでいます。

※以前全戸配布した、芳川の歴史が詰まった芳川歴史マップが芳川公民館に少し残っております。ご興味のある方はお問い合わせください。

芳川の今昔物語

第32話

平田橋
その昔...

木橋だったころの平田橋。平田茶屋と小字川向の平田堤(寿田町側)を結ぶ、重要な橋であった。遠方には常念岳が、中央にある大木は、在りし日の伊勢柳であらうか？ 現在と違って川底が非常に浅い。

現在...

鉄筋コンクリート造りの橋に架けかえられ、平成25年まで使用されていた旧平田橋は水平に架けられている。



撮影：2011年頃



撮影：2021年1月9日

平成26年12月竣工の平田橋。アーチ状にカーブした構造で、建築年代の違いがわかる。



撮影年代不明